

中間評価結果（平成 18、19 年度採択）

番号	研究課題名	研究代表者	評 価
18-2	駐車場デポジット制度による受容性と柔軟性の高い都心部自動車流入マネジメントシステム施策の研究と実証	名古屋大学大学院 教授 森川 高行	A
<p>< 研究の概要 ></p> <p>都心部の交通環境を改善するため、ITS を活用して「入域賦課金」と「駐車政策」を組み合わせた、「日本型ロードプライシング」を開発する。</p> <p>< 研究継続の妥当性評価 ></p> <p>研究の進捗状況、研究成果の見通し、ともに良好であり、現行のとおり研究を推進することが妥当である。</p>			